

物件調査システム 公図表示操作の手順書 (A3書式)

1 公開されている公図ファイルの入手

物件調査システムでは「公開されている公図ファイル」をシステムに登録してから表示します。

「公開されている公図ファイル」は [G 空間情報センター\(https://front.geospatial.jp/moj-chizu-xml-readme/\)](https://front.geospatial.jp/moj-chizu-xml-readme/) からダウンロードしてください。

ダウンロードの手順については、[G 空間情報センターの\(https://front.geospatial.jp/moj-chizu-xml-download/\)](https://front.geospatial.jp/moj-chizu-xml-download/) を参照ください。

公開公図ファイルは市区町村単位でダウンロードできます。

なお、資料内の画面はバージョンによって修正される場合があります。

2 公開されている公図ファイルの登録手順

前章1で入手した公開公図ファイル(ダウンロードした ZIP ファイルそのものとなります。解凍しないでください。)を登録します。

対象となる市区町村もしくは物件を表示します。「公図」ボタンをクリックすると、登録の確認メッセージが表示されます。

ファイル選択画面が表示されるので、前章1で入手した公開公図ファイルを指定して、「開く」ボタンをクリックします。

「登録が完了しました。」というメッセージが表示されると登録終了です。

(公開公図ファイルサイズが大きかったり、パソコンの性能が低い場合、時間がかかる場合があります。)

公開公図ファイルの内容

登録する公開公図 ZIP ファイルは、複数の公図 ZIP ファイルと一つの CSV ファイルから構成されています。

また、各公図ファイルには、一つ以上の図郭(公図の単位)を含みます。

公図を表示するときは、一つの公図 ZIP ファイルごとに表示します。表示するたびに公図 ZIP ファイルを解凍し、解凍された XML ファイルを読み込み表示しています。

そのため、公図ファイルが大きいと表示までに時間がかかる場合がありますのでご注意ください。



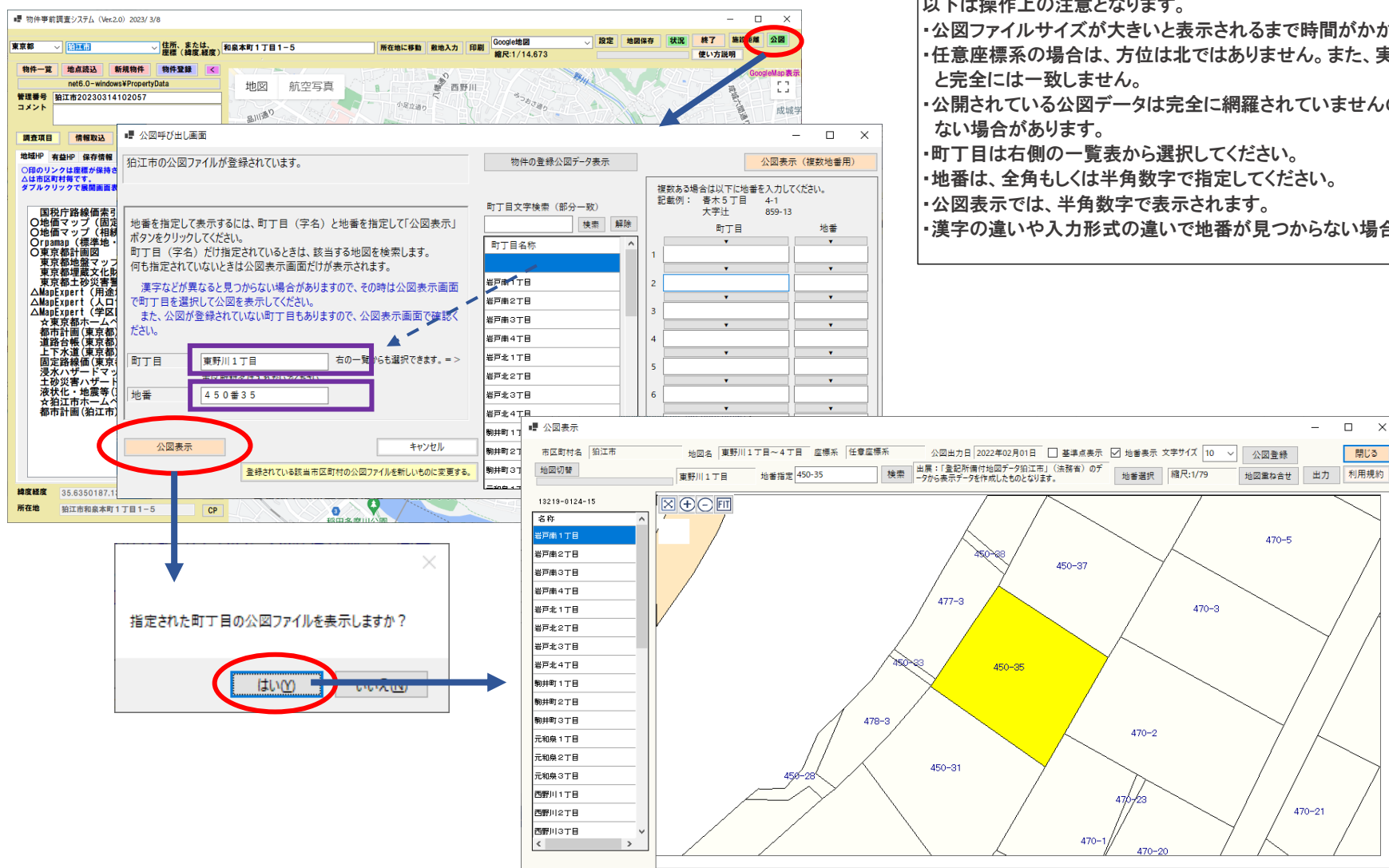
なお、公図表示の画面からは、複数の市区町村の公開公図ファイルを連続で登録することができます。

3 公図データの表示手順

(1) 地番がわかる場合

地番がわかる場合は、「公図呼び出し画面」(下図参照)で町丁目と地番を入力して「公図表示」ボタンをクリックします。

(なお、公開されている公図データは完全に網羅されているのではなく、一部の地番の公図はありませんので、その場合は表示できません。)



以下は操作上の注意となります。

- ・公図ファイルサイズが大きいと表示されるまで時間がかかります。
- ・任意座標系の場合は、方位は北ではありません。また、実際の土地形状と完全には一致しません。
- ・公開されている公図データは完全に網羅されていないので、表示できない場合があります。
- ・町丁目は右側の一覧表から選択してください。
- ・地番は、全角もしくは半角数字で指定してください。
- ・公図表示では、半角数字で表示されます。
- ・漢字の違いや入力形式の違いで地番が見つからない場合があります。

(2)地番がわからない場合

地番がわからない場合は町丁目を指定して、公図を表示します。なお、該当の町丁目の筆が複数の公図ファイルに分散している場合は、公図ファイル選択画面を表示して、選択された公図ファイルを表示します。

公園呼び出し画面

物件の登録公園データ表示

公園表示 (複数地番用)

町丁目文字検索 (部分一致)

町丁目名称

岩戸南1丁目

岩戸南2丁目

岩戸南3丁目

岩戸南4丁目

岩戸北1丁目

町丁目

岩戸南1丁目

市区町村名は入れないでください。

地番

公園表示

はい

登録されている該当市区町村の公図ファイルを新しいものに変更する。

公園ファイル選択画面

該当する公図ファイルが複数見つかりましたので選択してください。

ファイル名	地番数
13219-0124-4	5件
13219-0124-11	156件
13219-0124-13	1件

町丁目の地番が複数の公図ファイルに分かれている場合は選択画面が出ます。

公園表示

閉じる

緑色で表示されている地域が、指定した町丁目となります。
また、青い点線で囲まれている領域が、図郭(公示の単位)となります。

4 公図表示画面の操作

(1)公図表示画面の構成

公図の市区町村名

公図ファイルの地図名

公図ファイルの座標系

公図ファイルの出力日

基準点表示指定

地番名表示指定

地番文字サイズ

縮尺指定と縮尺変更ボタン

指定町丁目名

指定地番名

指定地番名

公図登録ボタン

全図・図郭切替ボタン

縮尺 1/322

縮尺変更

指定町丁目名

東野川1丁目

地番指定 450-35

検索

出典:「登記所備付地図データ(法務省)のデータから表示データを作成したものとします。

地番表示

文字サイズ 10

公園登録

全図

閉じる

地番選択

縮尺:1/322

地図重ね合わせ

出力

利用規約

地図表示拡大縮小

地番検索ボタン

地番選択ボタン

地図重ね合わせボタン

スケール表示

筆の領域内でマウス左ボタンをクリックすると筆の内容を表示します。

筆の内容表示

筆ID	H00000379
大字コード	011
丁目コード	001
小字コード	0000
予備コード	00
大字名	東野川
丁目名	1丁目
地番	450-35
形状ID	F00000379
座標値種別	図上測量
面積*	

面積は概算計算した非公式なものです。

閉じる

町丁目一覧 (市区町村内)

図全体を表示します。
表示範囲を広げます。
表示範囲を狭めます。
マウスで指定した範囲を表示します。

(2) 公図表示画面の操作

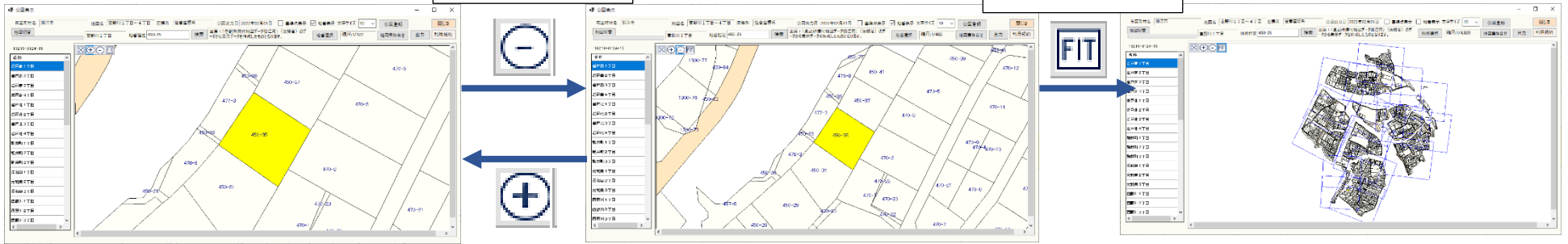
① 公図表示の拡大縮小移動

公図左上のボタンの操作



表示範囲を広げます。
地図を縮小します。

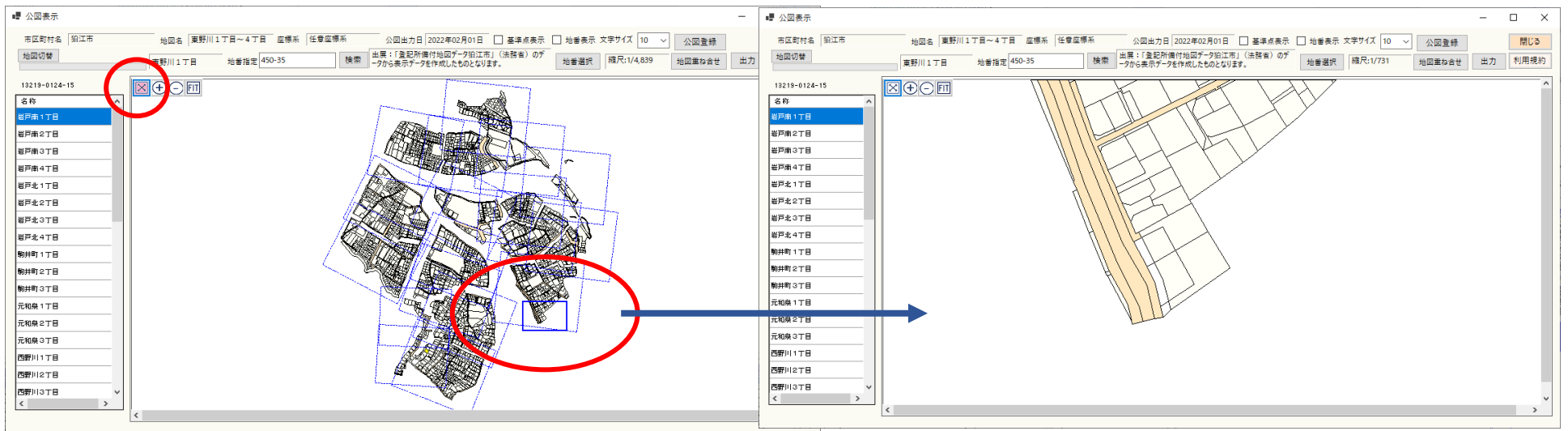
公図ファイルの公図全体を表示します。



表示範囲を狭くします。
地図を拡大します。

☒ ボタンの操作

マウスで矩形の範囲を指定して、その範囲を含む公図を表示します。

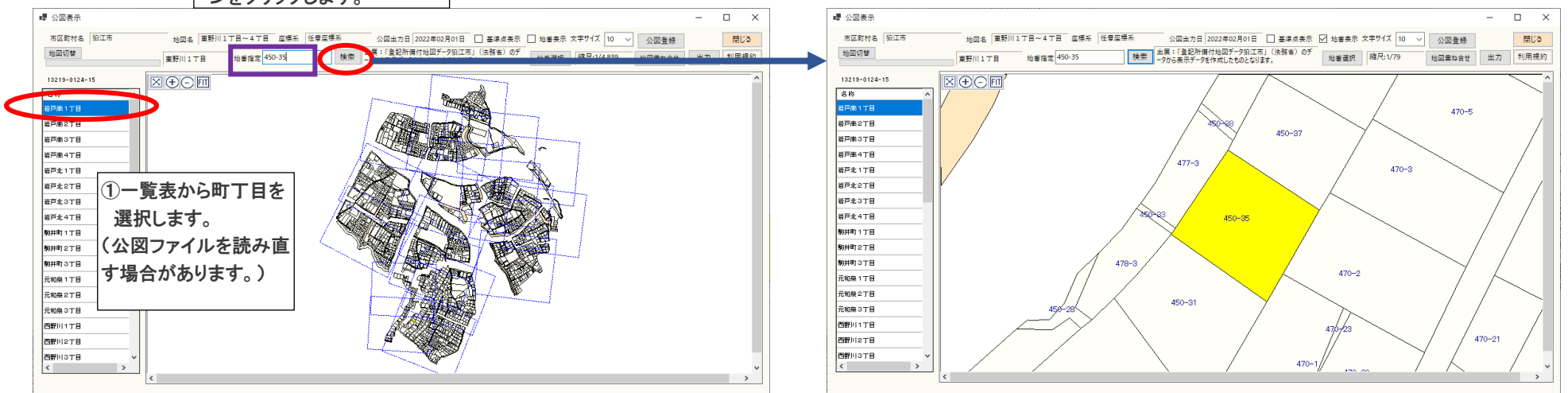


☒ ボタンをクリックすると、☒ のようにボタンの色が変わります。この時に、マウスで表示したい領域の頂点でマウス左ボタンを押して、押したままマウスを動かして矩形の領域を作り、表示したい範囲でマウスを放すことにより、指定された領域の公図を拡大表示します。

② 地番検索の操作

町丁目を一覧表から選択し、地番を入力して、「地番検索」ボタンをクリックします。

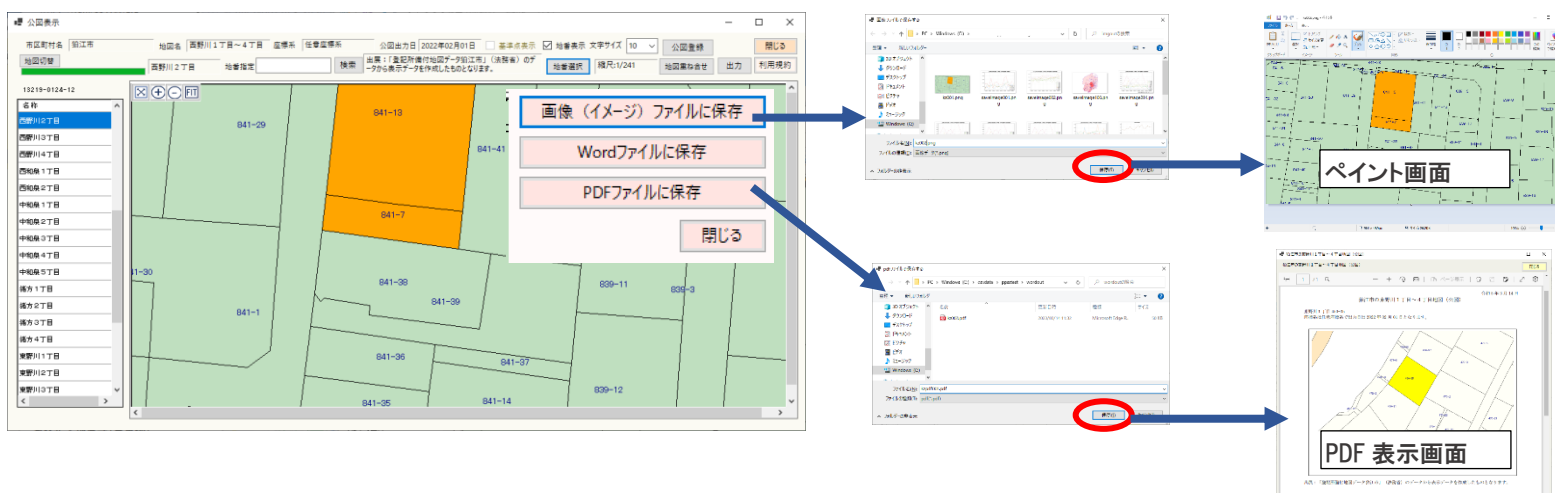
② 地番を入力して、「検索」ボタンをクリックします。



① 一覧表から町丁目を選択します。
(公図ファイルを読み直す場合があります。)

③ 公図出力

「出力」ボタンをクリックすると、画像ファイル、Word ファイル、PDF ファイル保存のメニューが表示されますので、保存したいファイル形式を選択し、ファイル名を指定して、保存します。保存後、画像ファイルはペイント画面、Word ファイルは Word、PDF ファイルは PDF 表示画面が自動的に表示されます。以下は画像ファイルと、PDF ファイルの例です。



5 地図上に物件の公図を重ね合わせる操作

(1) 物件位置の地図を表示

①住所を入力して「所在地に移動」ボタンで移動したり、②物件が登録されている場合は、物件一覧を表示して物件を選んで表示したり、③まだ、登録されていない物件であれば、住所と地番を入力して物件を登録して物件の位置を表示します。

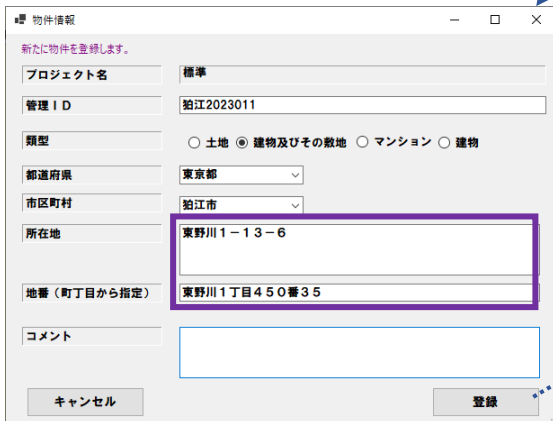
② 物件一覧を表示し、物件を選択して表示



① 住所を入力して「所在地に移動」ボタンで表示

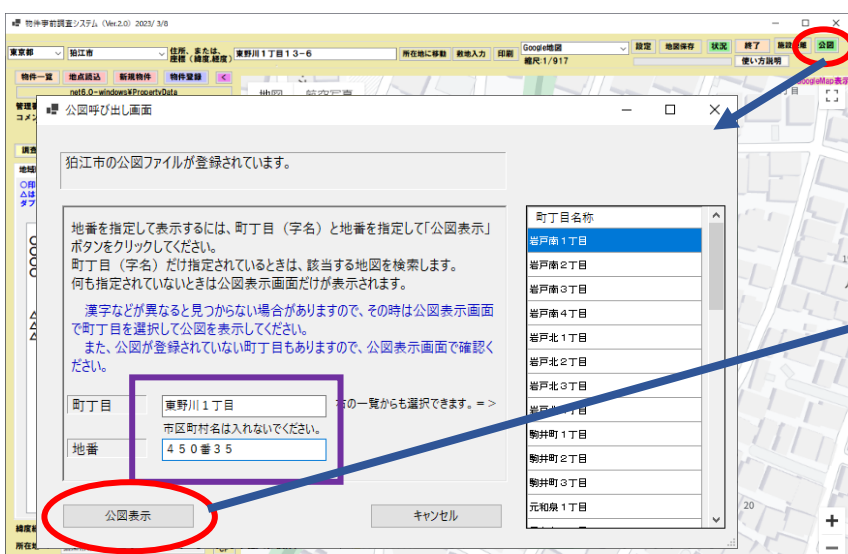


③ 「新規物件」ボタンから所在地と地番を入力して「登録ボタン」をクリック

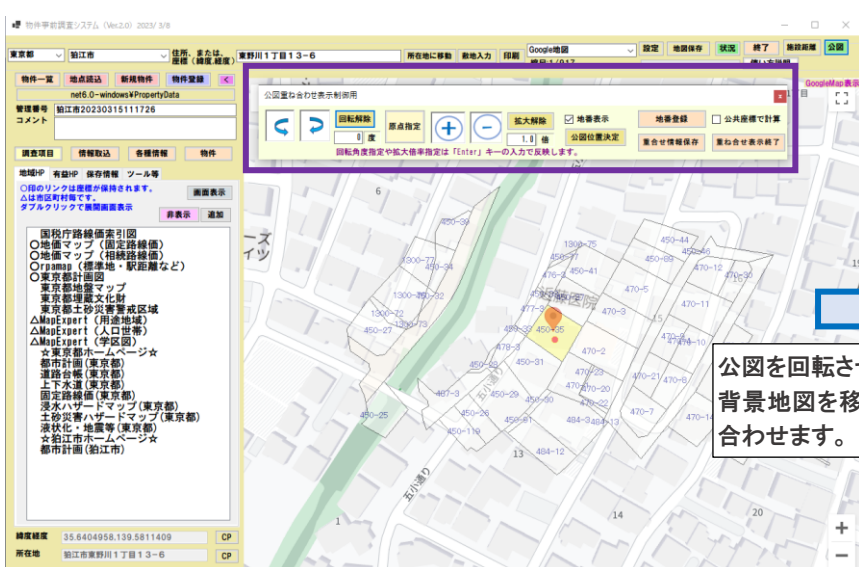
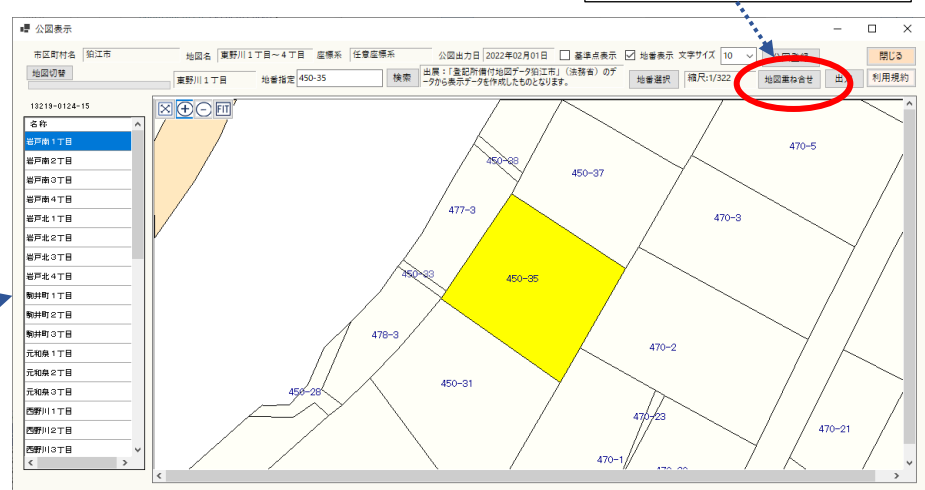


(2) 物件付近の公図を表示して地図に重ね合わせます。

地番を指定して公図を表示します。地番がわからなかったら町丁目で表示して、物件の位置を確認します。



「地図重ね合わせ」ボタン



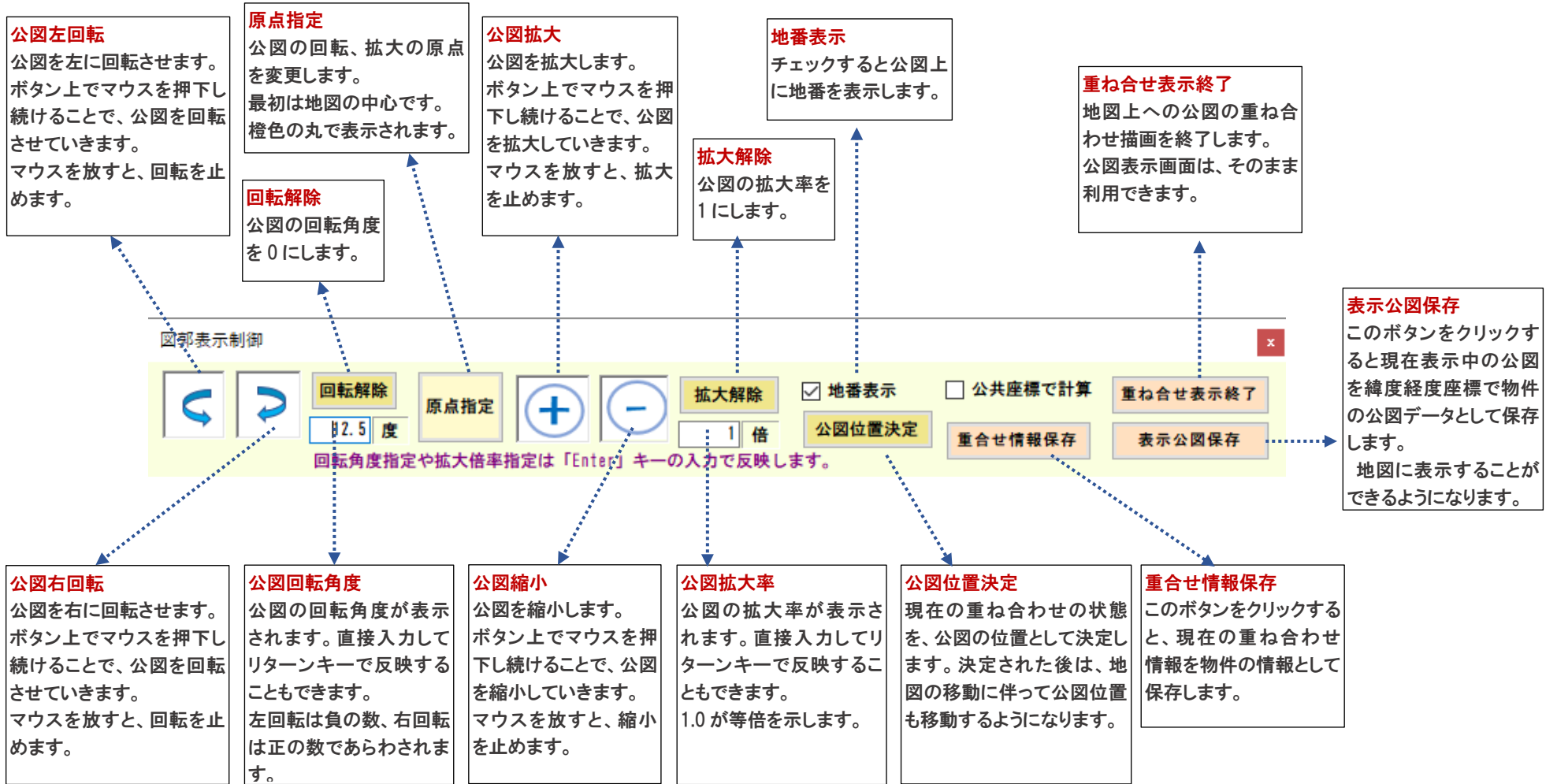
地図上に公図が表示され、「公図重ね合わせ表示制御用画面」が表示されます。

(3) 公図重ね合わせ表示制御用画面

公図の座標系は「任意座標」のものが多く、その場合、地図上に重ね合わせるには、公図の向きやスケールを地図に合わせる必要があります。また、重ね合わせ公図の筆を物件に保存しておくことにより、一度重ね合わせれば、次に表示するときは重ね合わせるための操作をしなくても自動的に重ね合わせて表示できるようになります。

「公図重ね合わせ表示制御用画面」はこのような重ね合わせるための操作や、物件に保存するための操作を行うものとなります。

以下が、各ボタンの説明となります。



(4) 原点指定の手順

ここでの「原点」とは、公図の回転や拡大縮小の計算の原点を示します。



(5) 重ね合わせた公図データの緯度経度座標での保存と表示

1) 重ね合わせた公図データの緯度経度座標での保存

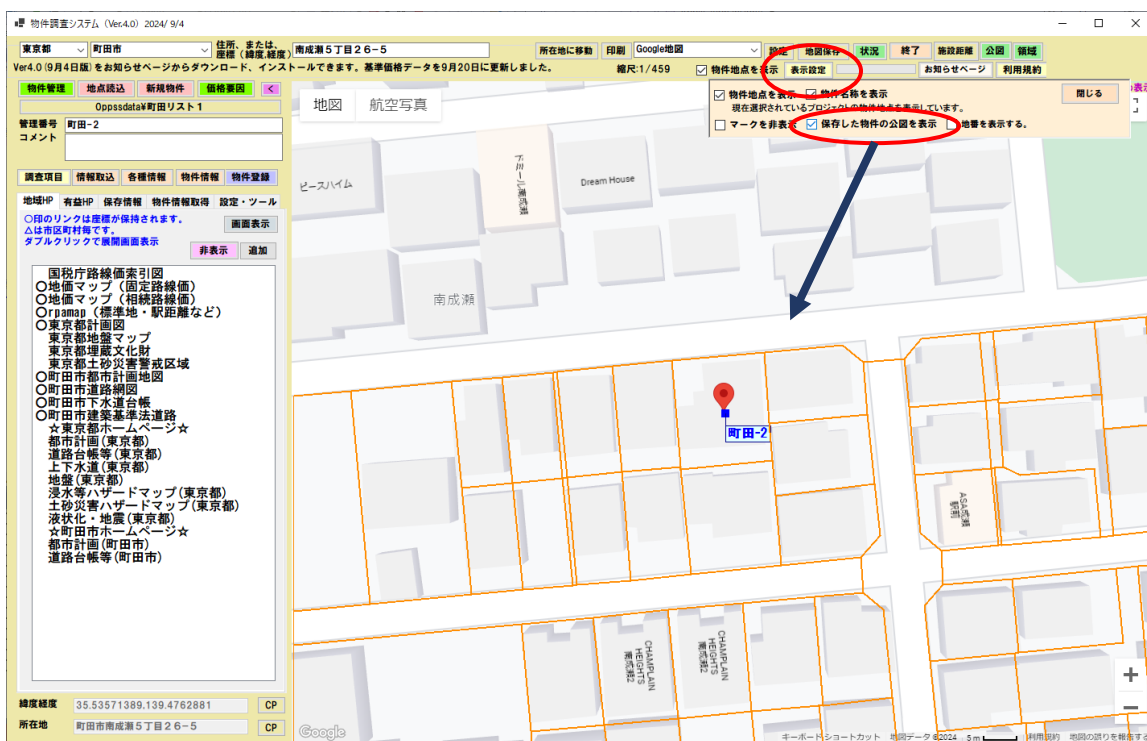
地図と公示を重ね合わせて表示し、位置等の重ね合わせが終わったら、図郭表示制御画面の「表示公図保存」をクリックします。確認メッセージに答えると該当物件の公図データとして保存されます。



なお、物件が複数の地番から構成されていて、かつ、複数の図郭にわかれていた場合も、各図郭を表示して位置を調整した上で、**一つの図郭表示制御画面で「表示公図保存」をクリックすると、全ての表示している図郭を緯度経度座標で該当物件の公図データとして保存できます。**

2) 保存した物件公図データの表示

該当物件を開いてから、メイン画面の「表示設定」ボタンをクリックして表示設定のパネルを表示すると、「保存した物件の公図を表示」というチェックが表示されます。このチェックをクリックすると、保存した物件の公図データを地図と重ね合わせて表示できます。(なお、「保存した物件の公図を表示」は該当物件の公図データが保存されているときだけ表示されます。)



また、「地番を表示する」をチェックすると、地番が表示されます。

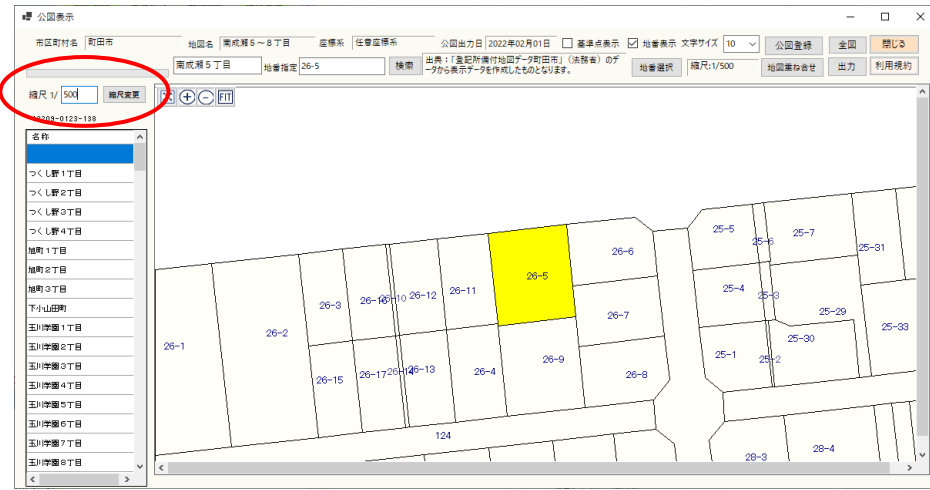


※ 公図の精度は図によって大きく違います。あくまでも参考図として利用ください。

(6) 公図の縮尺指定の表示と PDF 出力

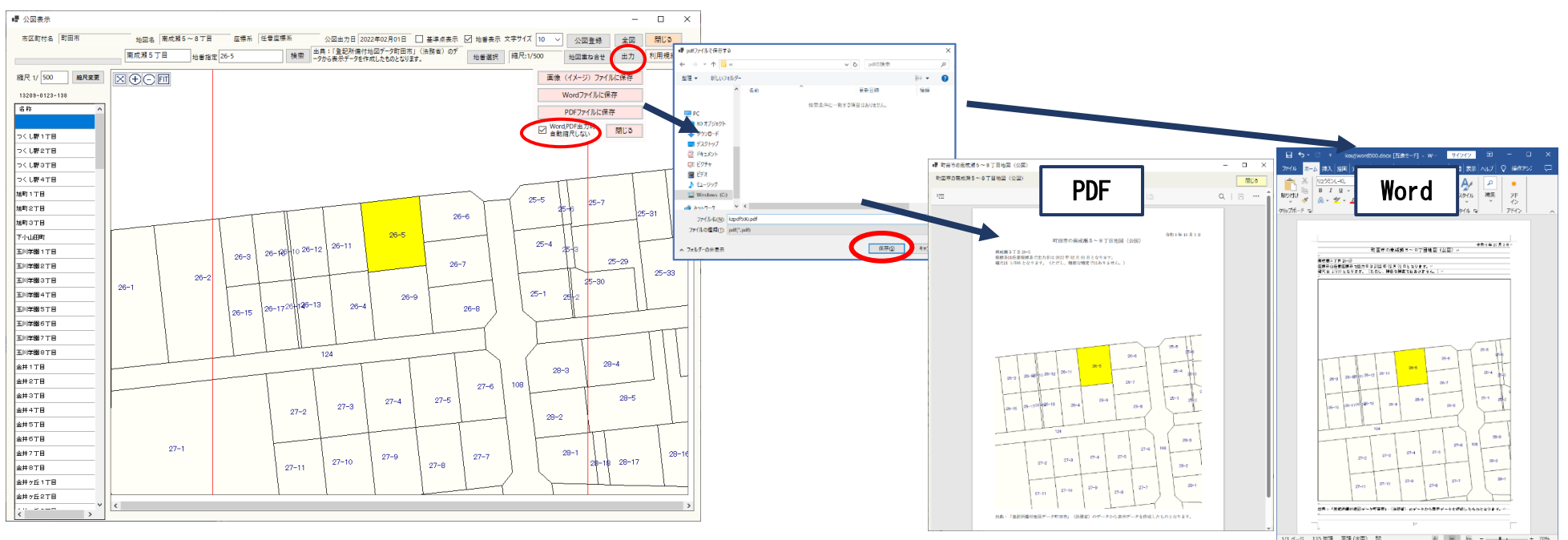
1) 縮尺を指定して公図を表示

公図表示画面の左側に縮尺指定の入力枠がありますので、ここに縮尺を指定して、「縮尺変更」ボタンをクリックすると、該当の縮尺で公図を表示します。(以下は 1/500 の表示の例です。)



2) 縮尺を変えずに PDF や Word へ出力

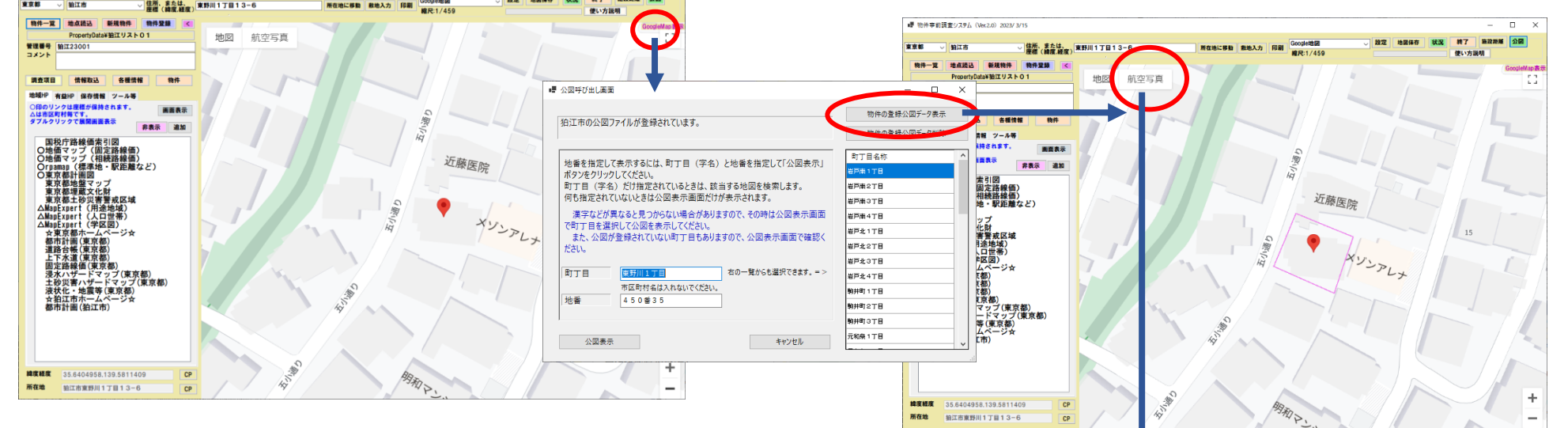
出力ボタンをクリックすると、出力パネルが表示されます。ここで、「WordPDF 出力時に自動縮尺しない」にチェックして、Word, PDF を作成すると、ほぼ同等の縮尺で、Word, PDF に出力します。Word に出力すれば、図に枠を付けたり、文言を修正できます。なお、表示されている公図画像のサイズを変更すると、自動縮尺されて、縮尺が変わってしまうので、ご注意ください。



※ 公図の精度は図によって大きく違います。あくまでも参考図として利用ください。

(7) 登録した地番の表示

物件を地図に表示しているときに「公図」ボタンをクリックし、「公図呼び出し画面」を表示して、「物件の登録公図データ表示」ボタンをクリックします。地番(筆)の形状が紫色の境界線で表示され



また、背景地図を航空写真に切り替えると、航空写真上に筆領域を表示します。

なお、本資料の画面や内容につきましては、今後のバージョンアップにより変更される場合があります。

以上です。

